学校番号	１０３

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「新編言語文化」（東京書籍）						
副教材等	新装版新しい古典の学習２in１スタイル学ぶぞ古文と漢文（尚文出版） 学ぶぞ古文と漢文基本練習ノート（尚文出版） さくらさく古文単語（浜島書店） 最新国語便覧（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・近現代文学、有名な古文・漢文などの作品を読みます。正しく内容を理解するために語彙力や文法の知識をしっかりと身に付けてください。
・作品を通して考えたことを表現することで意思を伝えるための書く力を身に付けてください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「書くこと」,「読むこと」の各領域において，生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	［現代文］随筆 ・引用歌や体験談に注意しながら、日本独特の桜に対する感性について理解を深める。 ・「旅」と「物語」の共通性について理解し、どのようなときに「心の自由」を感じるのか考える。「 ［教材］ 「さくらさくら」（俵万智） 「心の自由」（柚木裕子）	［知技］ ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ［思判表］ ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ［主］ ・進んで筆者のものの見方、感じ方、考え方を捉えて随筆を読み味わい、学習課題に沿って、「旅」と「物語」に対する筆者の思いを捉えようとしている。	発問評価 指名音読 ノート ワークシート 小テスト 定期考査	発表・報告 ノート ワークシート 定期考査	発問評価 ワークシート 振り返りシート
	［古文］古文入門 ・それぞれの文章の、リズムや調子の違いを感じ取る。 ・歴史的仮名遣いについて理解し、説話のおもしろさを読み取る。 ・文語の品詞について理解し、登場人物の行動や場面の描写や登場人物の心情を読み取る。 ・文語の活用について理解し、叙述を基に人物像を読み取る。 ［教材］ 「古文に親しむ」 「児のそら寝」『宇治拾遺物語』 「検非違使忠明」『今昔物語集』 「洋光と白波」『今鏡』 絵仏師良秀『宇治拾遺物語』	［知技］ ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 ［思判表］「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ［主］ ・進んで音読して古典の世界に親しみ、学習課題に沿って古文のリズムや調子を感じ取ろうとしている。	発問評価 指名音読 ノート ワークシート 小テスト 定期考査	発表・報告 ノート ワークシート 定期考査	発問評価 ワークシート 振り返りシート

		・進んで歴史的仮名遣いについて理解し、学習課題に沿って説話のおもしろさを読み取ろうとしている。 ・進んで文語の品詞について理解し、学習課題に沿って登場人物の行動や場面の描写や登場人物の心情を読み取ろうとしている。 ・進んで文語の活用について理解し、学習課題に沿って叙述を基に人物像を読み取ろうとしている			
	［漢文］漢文入門 ・漢文の特色を知り、訓読のきまりを理解するとともに、格言に親しむ。 ・故事成語の元になった話を読むことを通して、漢文の読解に慣れ親しむ。 ［教材］ 「訓読の基本」 「故事成語―三編」	［知技］ ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 ［思判表］「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ［主］進んで漢文の特色や訓読のきまりを理解し、見通しを持って、古典を学ぶ意味について考えを持とうとしている。 ・進んで訓読のきまりを理解し、学習課題に沿って、故事成語の元になった話を読み、故事成語の果たす役割について考えようとしている。	発問評価 指名音読 ノート ワークシート 小テスト 定期考査	発表・報告 ノート ワークシート 定期考査	発問評価 ワークシート 振り返りシート
	［現代文］小説 ・会話や行動の描写に着目して、登場人物の心情とその変化を読み取る。 ・場面や人物の設定における特徴を捉え、作中の「オレンジ」が持つ意味について考える。 ［教材］ 「とんかつ」（三浦哲郎） 「オレンジの実る中庭」吉田篤弘	［知技］ ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ［思判表］ ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。	発問評価 指名音読 ノート ワークシート 小テスト 定期考査	発表・報告 ノート ワークシート 定期考査	発問評価 ワークシート 振り返りシート

		・「読むこと」において、 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ［主］ ・進んで本文に描かれた出来事や会話、行動の描写を捉え、学習課題に沿って、登場人物の心情とその変化を読み取り、主題について考えようとしている。 ・進んで本文の内容や構成、展開を的確に捉え、学習課題に沿って登場人物の心の動きを読み取り、小説の内容や主題について理解を深めようとしている。			
	［古文］随筆 ・随筆に表れた作者の考えを、叙述を基に的確に捉える。 ・作品の内容を自分と関係づけながら、ものの見方、感じ方、考え方を深める。 ［教材］ 「徒然草」（兼好法師） 「枕草子」（清少納言）	［知技］ ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ［思判表］ ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 ・「読むこと」において、 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持っている。 ［主］ ・進んで文語のきまりや古典特有の表現を理解し、学習課題に沿って作者の考えを的確に捉えようとしている。 ・進んで自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、学習課題に沿って、作者のものの見方や感じ方、考え方を捉えたり、自分と関係づけて考えたりしようとしている。	発問評価 指名音読 ノート ワークシート 小テスト 定期考査	発表・報告 ノート ワークシート 定期考査	発問評価 ワークシート 振り返りシート

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
二学期	［現代文］詩歌 ・短歌独自の特徴と表現効果を理解し、言葉にこめられた情景や心情を読み取る。 ・俳句独自の特徴と表現効果を理解し、想像力を働かせて句の主題を読み取る。 ・比喩とリフレーンの効果を理解して詩を読み味わい、作者のものの感じ方について考える。 ・リズムや形式に注意して詩を読み味わい、作者の物事に対する感じ方について考える。 ・散文詩を読み、蜉蝣（かげろう）のイメージに託された生命への思いを深く味わう。 ［教材］ 「柳あおめる」 「雪の深さを」 「冬が来た」（高村光太郎） 「少年の日」（佐藤春夫） 「I was born」（吉野弘）	［知技］ ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 ［思判表］ ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 ［主］ ・進んで短歌の特徴や表現効果を理解し、学習課題に沿って、それぞれの歌にこめられた情景や心情を読み取ろうとしている。 ・進んで俳句の特徴や表現効果を理解し、学習課題に沿って、それぞれの句の主題を読み取ろうとしている。 ・進んで表現の効果を理解して詩を読み味わい、学習課題に沿って、作者のものの感じ方について考えようとしている。	発問評価 指名音読 ノート ワークシート 小テスト 定期考査	発表・報告 ノート ワークシート 定期考査	発問評価 ワークシート 振り返りシート
	［古文］詩歌 ・詩歌に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取る。 ［教材］ 「折々の歌」 『万葉集』 『古今和歌集』 『新古今和歌集』	［知技］ ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ［思判表］ ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	発問評価 指名音読 ノート ワークシート 小テスト 定期考査	発表・報告 ノート ワークシート 定期考査	発問評価 ワークシート 振り返りシート

		・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 ［主］進んで、和歌における表現の特色を理解し、学習課題に沿って、詩歌に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取ろうとしている。			
	［漢文］漢詩 ・漢詩に描かれている情景や心情を読み取り、優れた表現に親しむ。 ・漢詩とそれを踏まえた古文を読み、漢文が日本文学に与えた影響について知る。 ［教材］ 絶句と律詩―7首 「鹿柴」「春暁」「黄鶴楼送孟浩然之広陵」「贈汪倫」「涼州詩」「春望」 漢詩と日本文学	［知技］ ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ［思判表］ ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 ［主］ ・進んで漢詩の形式ときまりを理解し、学習課題に沿って、漢詩に描かれた情景や心情を読み取り、優れた表現に親しもうとしている。 ・進んで作品の歴史的・文化的背景や他の作品との関係を理解し、学習課題に沿って、漢文が日本文学に与えた影響について考えようとしている。	発問評価 指名音読 ノート ワークシート 小テスト 定期考査	発表・報告 ノート ワークシート 定期考査	発問評価 ワークシート 振り返りシート
	［現代文］小説2 ・極限状態にある登場人物の心情の変化を、場面の展開に即して読み取り、主題を考える。 ［教材］ 「羅生門」（芥川龍之介）	［知技］ ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	発問評価 指名音読 ノート ワークシート 小テスト 定期考査	発表・報告 ノート ワークシート 定期考査	発問評価 ワークシート 振り返りシート

		・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ［思判表］ ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 ［主］進んで描かれている内容についての見解をまとめ、学習課題に沿って、発表や討論を通じて得た他の意見も踏まえながら、考えを深めようとしている。			
	［古文］物語 ・歌物語に描かれている内容を、叙述を基に的確に捉える。 ・軍記物語特有の表現に注目しながら、登場人物の言動や心情を読み取る。 ［教材］ 『伊勢物語』 芥川 筒井筒 『平家物語』 木曽の最期	［知技］ ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ［思判表］ ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 ［主］進んで歌物語の特徴や表現の仕方について理解し、学習課題に沿って、各章段に描かれた内容を的確に捉えようとしている。	発問評価 指名音読 ノート ワークシート 小テスト 定期考査	発表・報告 ノート ワークシート 定期考査	発問評価 ワークシート 振り返りシート
	［漢文］ ・孔子の学問・人間・政治に対する考え方を知り、孔子の思想に興味を持つとともに、ものの見方や考え方を豊かにする。 ［教材］ 『論語』―八章 学ということ 人間を見つめる 政治を考える 『論語』の注釈を読む	［知技］ ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ［思判表］ ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	発問評価 指名音読 ノート ワークシート 小テスト 定期考査	発表・報告 ノート ワークシート 定期考査	発問評価 ワークシート 振り返りシート

		［主］ ・進んで『論語』に表れているものの見方や考え方について理解し、学習課題に沿って、自分のものの見方や考え方を豊かにしようとしている。 ・進んで自分の考えを伝えるとともに、他の人の考えも参考にし、ものの見方・感じ方・考え方の多様性について理解しようとしている。			

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
三学期	［現代文］小説3 ・表現に即して小説を丁寧に読み味わい、そこに展開する独自の世界を味わう。 ・主人公の心情の変化を読み取り、細かい表現に注意して話の展開を捉える。 ［教材］ 『夢十夜』(夏目漱石) 『デューク』(江國香織)	［知技］ ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ［思判表］ ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 ［主］ ・進んで文章の構成や展開、表現の特色などを捉え、学習課題に沿って、小説の中に展開する独自の世界を味わおうとしている。 ・進んで文章の構成や展開、表現の特色などを理解し、学習課題に沿って、主人公の心情の変化を読み取り、表現に注意して話の展開を捉えようとしている。	発問評価 指名音読 ノート ワークシート 小テスト 定期考査	発表・報告 ノート ワークシート 定期考査	発問評価 ワークシート 振り返りシート
	［古文］紀行 ・構成に注目しながら、作品にこめられた思いを読み取る。 ［教材］ 『奥の細道』(松尾芭蕉) 旅立ち 平泉	［知技］ ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	発問評価 指名音読 ノート ワークシート 小テスト	発表・報告 ノート ワークシート 定期考査	発問評価 ワークシート 振り返りシート

	「古典芸能へのいざない」 「文体の変遷」	・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・言文一致体や和漢混交文など歴史的な文体の変化について理解を深めている。 ［思判表］ ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 ［主］ ・進んで文章の構成や展開について理解し、学習課題に沿って、作品に込められた作者の思いを読み取ろうとしている。 ・進んで古典芸能の概略を理解し、学習課題に沿って、古典芸能について調べ、理解しようとしている。 ・進んで歴史的な文体の変化について理解を深め、学習課題に沿って、実例に即して気づいた点や興味・関心を持った点を挙げたり、日本語の文体の変化について話し合いをしたりしようとしている。	定期考査		
	［漢文］史話 ・話の展開や登場人物の言動を読み取り、史話のおもしろさを味わう。	［知技］ ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ［思判表］ ・「読むこと」において、文章の種類を踏ま	発問評価 指名音読 ノート ワークシート 小テスト 定期考	発表・報告 ノート ワークシート 定期考	発問評価 ワークシート 振り返りシート

	［教材］ 史話―三編 「曹公戦於白馬」 「曹公以関羽為義」 「魏武捉刀」	えて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ［主］進んで話の展開や登場人物の言動を読み取り、学習課題に沿って、史話のおもしろさを味わおうとしている。			

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　１０　）時間

・読むこと　…　（　４０　）時間